

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム福楽園	施設番号	K-212
-----	--------------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和7年度)	改善計画 (令和7年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和8年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (年4月30日時点)
人員体制 の見直し と組織的 支援力の 強化によ る持続的 運営に期 待する について	ケアマネジャーや相談員が兼務する場面では、モニタリングや記録業務の負担が大きくなっており、今後は職種ごとの役割分担を明確化し、業務標準化とマニュアル整備を進めることで属人的な運営からの脱却が求められる。また、行事や地域交流の一部が人員・時間の制約により縮小傾向にあるため、地域ボランティアや家族の協力体制を強化し、施設全体で支える仕組みづくりが今後期待される。職員研修やOJT体制を充実させ、経験の少ない職員でも均質なケアを実践できる環境を整えることで、組織全体の安定的な成長と支援の質向上が期待される。	職員研修の報告はグループフォームを使用し、自身のタイミングで対応できるようにしている。選任のケアマネジャーを雇入れた為、兼務無し。	① 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
業務標準 化と文書 化を図り 専門職同 士の更な る連携強 化が期待 される について	介護ソフトの入力や日々の申送りにより情報共有が行なわれているが、専門職同士の連携に不足が見られ、互いの業務理解が十分でない点が見受けられる。各職種の業務を標準化し文書化することで、連携の効率化とサービスの質向上につながる事が求められる。また、職員自己評価においても『部署間の意見交換が必要』や『業務改善が望まれる』との声があり、職員間で検討を重ねることにより、限られた人員体制においても、協力体制を強めることで安定したサービス提供を言支持していくことが望まれる。	責任者会議にて各係間での業務遂行や行事活動に関する調整という議題で情報共有している。	① 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
採用と育 成や研修 に取り組 み、さら なる組織 力向上を 目指され たい について	職員の資質の向上を目指して、内外研修の機会を充実させることに取り組んでいる。相談員などは部研修にも参加できているが、タイトな人員体制によって介護職員を研修に参加させることが難しい状況となっていることを課題としている。よって、介護人財として現在4名のミャンマー人の採用が決まっているが、ビザの関係で本国で足止めとなっている。また、調理人財としてネパール人を2名採用し、年明けに受け入れることにしている。人材採用に関するチャネルをさらに拡充し、施設内の各要員体制を充実させ、さらなる組織力の向上を目指されたい。	3 月末時点で特定技能者介護 6 名調理2名で採用できている。新人教育を重要事項とし取り組んでいる。	① 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。